

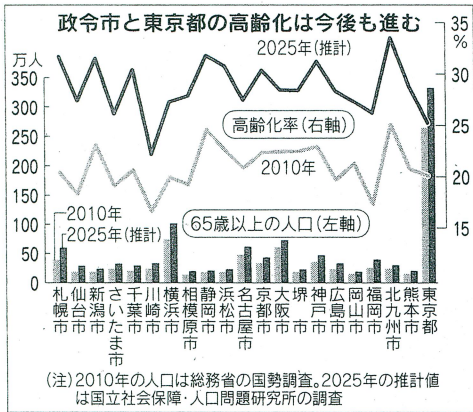
「待機老人」大都市で増加

「特養ホームに入れず」12万人

高齢化、整備に遅れ

公的な老人ホームに入りたくても入れない「待機老人」が大都市で増えている。日本経済新聞が20政令市と東京都に特別養護老人ホーム(特養)の待機者数を聞いたところ、約12万人と全国に待機者の2割を占めた。高齢者人口に占める政令市と東京都の割合は2025年に3割に達する見通し。このままでは介護サービスの整備がさらに遅れる可能性が大きい。

食事、入浴、排せつなられる特養ホームの最新「ど日常生活の世話を受け」の待機者数を10月上旬も多かった札幌は6571人、次いで名古屋は6236人、東京都は4万3384人だった。



▼特別養護老人ホーム(特養) 身体や精神上の障害のため常に介護が必要で、家での介護が困難な人が入る。介護老人福祉施設とも呼ばれる。食事、排せつ、入浴など日常生活の介助や健康管理を受けられる。2012年度末時点で全国に7600カ所程度ある。特養は利用者の負担額が1割と安い分、保険料

65歳以上の高齢者人口のうち待機者の占める割合をみると岡山、新潟、広島、順で多かった。厚生労働省によると13年度末の待機者は全国で52万人。大都市が23%を占める計算で、10年時点の高齢者人口に占める政令市と東京都の割合(28%)よりはるかに低い水準だ。都市

や税金の負担が重い。入所希望者は多いが整備が追いつかず待機老人が増えている。15年4月からは原則、要介護度3以上は認定を受けた人しか新たに入所できなくなり、要介護2以下の中軽度だと入りにくくなる。

高齢者人口のうち待機者の割合が多い自治体

自治体名	高齢者人口のうち待機者の割合(%)	直近の待機者数(人)
1 岡山市	3.97	5,999
2 新潟市	2.69	5,040
3 広島市	2.48	5,737
4 川崎市	2.08	4,927
5 仙台市	1.98	3,792
6 京都市	1.74	5,736
7 札幌市	1.68	6,571
8 神戸市	1.65	5,837
9 福岡市	1.59	4,047
10 浜松市	1.50	2,720
11 北九州市	1.32	3,243
12 名古屋市	1.32	6,236
13 相模原市	1.32	1,820
14 熊本市	1.28	1,957
15 静岡市	1.22	2,156
16 千葉市	1.04	2,061
17 さいたま市	0.90	2,091
18 横浜市	0.72	5,290
19 大阪市	0.62	3,686
20 堺市	0.52	981
参考 東京都	1.64	43,384
参考 全国	1.79	523,584

(注)熊本市の待機者数は要介護3以上で在宅の人のみ集計。今年4月など直近の待機者数。調査時期は自治体によって異なる

部には若年層の人口流入もあるため、地方に比べて高齢化の進行は遅かった。だが高齢者の絶対数は多く、特養ホームの待機者も急速に増えている。例えば13年までの3年間で、東京都では待機者が324人、広島市では486人増えた。待機者の解消策として、浜松は特養ホームの定員を年250人分増やす計画だ。症状の重い「要介護4」以上で、自宅に回すサービスを充実する。札幌は症状の軽い人向けに在宅・訪問介護サービスを増やす。民間企業やNPO法人、ボランティアを使って介護予防サービスを拡充する。介護予防では症状の軽い人向けに運動や食事の指導を行い、介護が必要となる人を減らす。都市部の高齢化は今後控える動きも出ている。

高齢化は地方が先行して進んできた。すでに65歳以上の高齢者が占める割合が29.5%の秋田県や28.5%の高知県には、特養ホームの待機者がほとんどいない自治体がある。地方では特養増設を